

2024年6月11日

各位

ギャラリー・ミレー運営委員会
株式会社 北陸銀行

美術館「ギャラリー・ミレー」常設展の展示替えについて

ギャラリー・ミレー運営委員会は、北陸銀行が設置した美術館「ギャラリー・ミレー」において、下記の通り記の通り常設展の展示替えを行いますのでお知らせします。

記

1. 新展示の概要

- 日時 2024年6月13日（木）より
- 内容 【自然と人間】と題し、全21点の作品を「ふるさとの風景」「農民の生活」「川のある風景」「森の中」「動物のいる風景」という5つのグループに分けてご紹介します。自然に畏敬の念を抱き、ありのままの自然を描いたミレーやバルビゾン派の画家たち。彼らの描いた作品を通して、自然と人間の関わり方を見つめます。

なお、企画展では「ぶりゅっととやま！みられ展」を開催中です。

2. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

まちなか美術館「ギャラリー・ミレー」は、今後も中心市街地の活性化と賑わいの創出に貢献できるよう努力してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

〒930-0044 富山市中央通り2丁目1番20号 ギャラリー・ミレー運営委員会 事務局
TEL/FAX(076)423-7220

自然と人間

※主な展示作品



「岩山の風景、ジュラ」
ギュスターヴ・クールベ



「アルクマール遠望」
サロモン・ファン・ロイスダール



「鷺鳥番の少女」
ジャン=フランソワ・ミレー



「兎のいるアプルモン溪谷の日の出」
ジャン=フランソワ・ミレー



「洗濯する女たち」
ジャン=フランソワ・ミレー



「釣り人」
エミール=シャルル・ランビネ



「羊を連れ帰る羊飼い」
ルイ=エメ・ジャビー

自然と人間

2024年6月13日— 2025年6月15日

作品番号	作家	作品名	制作年	技法
ふるさとの風景				
1	ギュスターヴ・クールベ	岩山の風景、ジュラ	1856	油彩
2	ギュスターヴ・クールベ	メジエール近郊	1865	油彩
3	ギュスターヴ・クールベ	山間の滝	1866-70頃	油彩
4	ジャン=フランソワ・ミレー	夕暮れの村の道	1847-49頃	油彩
農民の生活				
5	ルイ=エメ・ジャピー	羊を連れ帰る羊飼い	1884	油彩
6	シャルル=エミール・ジャック	夕暮れの積みわらのそばの羊飼い	不明	油彩
7	ジャン=フランソワ・ミレー	羊の毛を刈る女	1860頃	油彩
8	ジャン=フランソワ・ミレー	丘の上の羊飼い、夕方の効果	1847-50頃	黒クレヨン
9	ジャン=フランソワ・ミレー	鷺鳥番の少女	1865頃	油彩
10	ジャン=フランソワ・ミレー	洗濯する女たち	1857-60頃	鉛筆
川のある風景				
11	サロモン・ファン・ロイスダール	二台の馬車と渡し舟のある川辺の風景	1661	油彩
12	サロモン・ファン・ロイスダール	アルクマール遠望	1657	油彩
13	シャルル=フランソワ・ドービニー	ブゾンの小島	1851	油彩
14	エミール=シャルル・ランビネ	釣り人	不明	油彩
森の中				
15	ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	林間の空地	1870頃	油彩
16	ジャン=フランソワ・ミレー	森の中の恋人たち	1843-47頃	油彩
17	ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	森の中の水飲み場	1872頃	油彩
動物のいる風景				
18	ジュール・デュブレ	昼下がりの牧場	1860代初め	油彩
19	ジュール・デュブレ	風車のある風景	1850代前半	油彩
20	ジャン=フランソワ・ミレー	兔のいるアブルモン溪谷の日の出	1860-62頃	油彩
21	ジャック=レイモン・ブラカサ	牛のいる風景	1844	油彩

